

Global PBL on AI for IoT

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2022年10月29日 ～2022年11月08日	ベトナム	ハノイ理科大学 フェニカ大学 FPT大学	<ul style="list-style-type: none"> ・先進国際課程、国際理工学専攻 ・学部3年生、学部2年生、学部1年生、修士1年生 	(芝浦工業大学) 学生13名、学生バイト2名、 教員2名 (ハノイ理科大学) 学生16名、教員9名 (フェニカ大学) 学生7名、教員2名、職員1 名 (FPT大学) 学生4名、教員1名、職員5 名	PHAN XUAN TAN(情報 通信工学科)、CETINKAYA AHMET(先進国際課程)



図1 Openig Ceremony

gPBL (Global PBL) 2022がベトナムのハノイ、Hanoi University of Science & Technology (HUST)で開催されました。このプログラムは、covid 19 パンデミックの後、SIT で最初の海外 gPBL の 1 つです。最初のプログラムには、ベトナムの 4 つの異なる学校/大学 (HUST (School of Mechanical Engineering (SME), School of Engineering Pedagogy (SEPD) を含む)、Phenikaa University および FPT University) が同時に参加しました。IGP学生にとって初めての海外プログラム。SITからは13名、ベトナムの大学からは27名の学生が参加しました。学生は 6 つのグループに分けられ、IoT アプリケーションのトピック (教育、農業など) がランダムに割り当てられました。各グループで、既存の研究の技術的な問題を発見し、その問題を克服するための解決策について話し合いました。ソリューションに基づいて、システムを提案し、開発しました。最後に、彼らは成果を発表し、実現可能性を示すために開発したシステムを実演しました。全体として、この gPBL は成功し、参加者は目標を達成し、英語でのコミュニケーション スキルを磨くことができました。双方からの学生は肯定的なフィードバックを持っています。彼らは皆喜んでおり、このプログラムが来年も続くことを願っています。プログラム終了後、SIT のことを知る人が増え、SIT で学ぶ機会について多くの質問が寄せられました。



図2 Student develop systems



図3 Ice-breaking



図4 Tutorial session



図5 Studentnts'presentation



図6 Cultural Exchange